



第474号

**公益社団法人
徳島県環境技術センター**

発行

徳島市津田海岸町 2-33

電話 (088) 636-1234(代)

FAX (088) 636-1122

発行責任者 吉村 正

編集者 原岡 艶 甲

令和元年度 浄化槽行政担当者説明会開催

県環境技術センターは9月4日に、県及び市町村の浄化槽担当者を対象に、浄化槽についての説明会を開催した。

この担当者説明会は、毎年1回、浄化槽の専門機関であるセンターが、浄化槽についての基本的な事項から、最新の浄化槽を取り巻く状況まで、幅広く情報発信しているものである。

例年は、年度初頭に開催しているが、今年度は、県の組織改編が5月にあったことと、浄化槽法および県事務取扱要領の改正等があったことから、9月の開催となった。

当日は、県、市町村併せて21機関、23名の出席者があった。

当日の説明会での内容は次のとおりである。

1. 浄化槽関係法令の基礎と改正浄化槽法について

(講師：調査研究事業課長 西岡 卓馬)

内容：浄化槽の基本的事項、および改正浄化槽法についての最新の情報提供

2. 7条検査から見た工事の注意点及び不適正事例

(講師：検査第三課長 河本 慎次郎)

内容：浄化槽工事の施工上の留意点と、7条検査で多い指摘事項および改善について

3. 情報提供①：法定検査の実施状況について

(講師：検査第一課長 多田 啓二)

内容：法定検査の現状(11条検査)についての報告

4. 情報提供②：徳島県事務取扱要領の改正について

(講師：総務課長 山下 桂一郎)

内容：県事務取扱要領改正の留意点について

受講された担当者からは、業務に大変参考になったとの意見が多く寄せられ、有意義な説明会となった。

センターでは今後も県下唯一の検査機関として種々の情報を提供していきたいと考えており、特に来年度には改正された浄化槽法と、新省令も施行されることから、それに関しても情報発信したいと考えている。



<参考>

平成31年3月末現在における徳島県の浄化槽設備士数は919名で、そのうち現役世代は297名(全体の32%)である。

今後、業界を担う20代30代の資格者は全体の僅か3%であり、浄化槽を推進する上で若い世代の資格者数が減少しているのは非常に危惧される問題である。

◇徳島県の浄化槽設備士数(年齢別資格者数)

20代	1名(0.1%)
30代	26名(2.8%)
40代	132名(14.4%)
50代	138名(15.0%)
60代以上	622名(67.7%)
合計	919名

(平成31年3月末現在)

現役32.3%

令和元年度 設備士試験

合格者221名

合格率27.1%で

5.4%アップ

令和元年9月10日、公益財団法人日本環境整備教育センターは、7月7日(日)に全国5ヶ所(宮城県、東京都、愛知県、大阪府、福岡県)で実施した浄化槽設備士試験の結果を発表した。

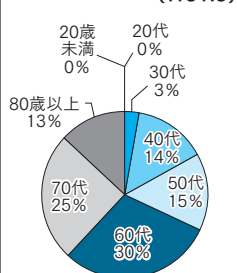
それによると、本年度の受験申請者数は892名(昨年度985名)でそのうち815名(同811名)が受験し受験率は91.4%(同82.3%)であった。合格者は221名(同174名)で合格率は27.1%(同21.7%)となった。

昨年度は試験日が丁度、西日本豪雨と重なり、福岡及び大阪会場を中心に受験者数が大幅に減少し合格者も大幅に落ち込んでいたが、去年合格者が少なかった大阪会場・福岡会場を中心に、昨年対比で47名増(27%増)となった。

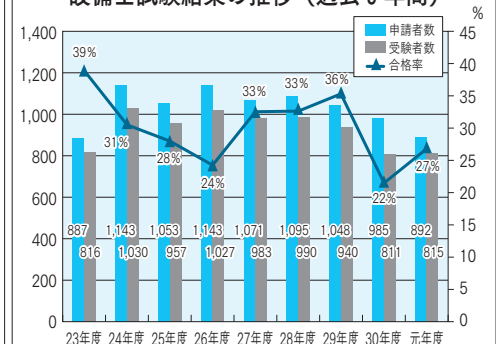
<試験会場別の合格者数は次のとおり>

宮城会場	21名(昨年度20名) + 1名
東京会場	63名(〃 58名) + 5名
愛知会場	31名(〃 33名) △ 2名
大阪会場	46名(〃 24名) + 22名
福岡会場	60名(〃 39名) + 21名
計	221名

徳島県の浄化槽設備士(H31.3)



設備士試験結果の推移(過去9年間)



東みよし町 PFI 事業 優先交渉権者決定

東みよし町は、令和元年 8 月 23 日、「民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律」第 8 条第 1 項の規定により、**東みよし町浄化槽市町村整備推進事業**を実施する民間事業者の選定について、「提案書の評価基準」（令和元年 7 月 8 日公表）に基づき提案内容の審査を行った結果、「株式会社 東みよし浄化槽整備（代表企業：㈲久保衛生）」を優先交渉権者に決定したと発表した。

事業者の募集は、令和元年 7 月 8 日に行い、1 事業者から応募があった。

「東みよし町 PFI 事業者選定審査委員会」は 8 月 22 日（木）に応募事業者を対象に開催され、応募者の提案書を定性的評価と定量的評価に基づき審査した結果、総合評価点 80.09 点／100 点を獲得し（株）東みよし浄化槽整備を優先交渉権者に決定した。

今後は、町が優先交渉権者と交渉協議を行い、町議会の決議を得て 10 月 1 日に事業をスタートする。

東みよし町浄化槽市町村整備推進事業の概要

【事業の内容】

- 公共下水道事業計画区域を除いた区域を対象に
 - 1000 基の浄化槽の設置業務を行う
 - 設置した上記浄化槽の維持管理業務を行う
 - 上記浄化槽の使用料の徴収業務を行う

【事業期間】10 年間（2019 ～ 2029 年度まで）

事業終了後は事業の継続を含めて改めて検討

【目標】事業は BT0 方式で行い、設置対象の規模の制限はなし。但し、年間の単独転換の設置比率を 30% 以上を目標としている。

（株）東みよし浄化槽整備（SPC）の構成メンバー

〈構成企業〉・・・ 5 社

- ◎代表企業 ☆有限会社 久保衛生
- 構成員 ☆株式会社 タルミ
- ☆川原プロパン 有限会社
- ☆有限会社 武田設備
- 中央清掃協同組合

〈協力企業〉・・・ 11 社

- ☆有限会社 西部衛生社
- ☆池田浄化槽清掃管理センター
- ☆有限会社 中川衛生
- 佐賀電業社
- カワハラ電工
- 有限会社 大谷石油
- 有限会社 大西電機
- 池本設備

井添水道工事店
皆本建設 有限会社
有限会社 スギモト

☆はセンター会員

SPC については代表企業及び構成員がすべて町内業者であり、協力企業も 11 社中 8 社（73%）が町内業者である。

現状では、町内の浄化槽設置工事の半分以上が町外業者により行われているが、この事業を実施することにより、施工及び維持管理等浄化槽に関連するあらゆる業務に町内を中心とした業者が対応できるようになり、地元の活性化が図られる。

また、顔見知りの地元業者が対応することで住民の不安も軽減され、緊急時や問合せなどにも即座に対応でき、安心して浄化槽を使用することができることが評価されたと思われる。



令和元年 8 月 21 日（水）10 時から「神山町きれいな水づくり推進協議会」の打ち合わせ会議が、県環境技術センター事務所で開催された。

会には、会員 3 社の関係者及び行政機関である神山町から栗飯原主査、高橋主事の計 11 名が出席した。

まず協議会会長である井内会長の開会挨拶のあと議事に入った。

第 1 号議案「し尿処分手数料の引き上げに伴う浄化槽清掃料金の見直し」について

まず、事務局から、阿北環境整備組合のし尿処分料の値上げにより清掃料金を値上げせざるを得ない状況であるため、料金改定に係る手続き等について説明を行った。その後、清掃業務を行う会員を中心として清掃料金の見直しについて協議を行った結果、住民に負担をかけられないこと、組合から吉野川市が脱退することにより再度投入料の値上げが考えられることなどから、今回は清掃料金については据え置きとすることとした（消費税分の増額は行う）。

議題については以上であったが、続いて次の二点につき報告を行った。

- (1) 消費税増税に伴う協議会料金改定について契約者に通知を送る旨及び通知内容について
- (2) 神山町の広報誌（9 月号）への協議会広報の掲載について

以上、予定していた議事を終了し、閉会した。



プラごみフォーラム

開催

令和元年 8 月 27 日にプラごみフォーラムが徳島グランヴィリオホテルで開催された。

プラスチックごみは、マイクロプラスチックを始め、海洋生物への影響など深刻な海洋汚染源として世界規模での問題となっている。

その対策の一つとして「レジ袋の有料化」が推進されているが、県内の主要スーパーでもすでに導入済みで、レジ袋の辞退率が80%に達するなど、その成果が出ている。

この取り組みのさらなる拡大を狙い、事業者・徳島県消費者協会・とくしま環境県民会議・徳島県の4者で「無料配布」をしない『レジ袋削減等に関する協定』がフォーラムに先立ち締結された。

フォーラム第1部では「レジ袋サクゲン作戦」(徳島商業高等学校)、「漁業現場から見た『海ごみ』の現状」(徳島県漁業協同組合連合会)の事例発表、引き続き「あなたの知らないごみの世界」(NPO法人ゼロ・ウェイストアカデミー藤井園苗理事)と題した特別講演が開催された。

第2部では、海陽町海洋自然博物館マリンジヤムの移動水族館、工作コーナー、水質チェック体験コーナー、環境アニメ映画上映のブース等が設けられた。当センターは「とくしまSATOUMIフレンドシップ団体」として、水質チェック体験コーナーにてCODパケットを使った水質検査を実施した。汚れた皿をふき取る前後でのCOD値を比較。ひと手間かけることにより水質は良くなることを体験してもらった。参加者からは「面倒くさいけれど、その価値がありますね」など理解を得たようである。

このような機会を通じて、生活排水の環境への影響についての理解、ひいては「里海」を広く県民へ周知を行い、徳島県民の水環境への意識向上へ一役買いたいと考えている。



期間で、高知大学から1名を8月19日～8月30日の期間でそれぞれ受け入れた。また県水・環境課からの依頼で1名を8月20日に受入れた。

徳島大学の学生と高知大学の学生は、1週間ほど派遣期間が同時期であったため、一緒に就業体験をしてもらった。実際の職場経験ということで、排水や環境水の水質検査はもとより、環境調査の採水にも同行。暑い中での作業であったが、弱音を吐かずにセンター職員とともに業務に取り組んでいた。

8月20日には当日のみの学生も加わり、3名での実習となった。センターの事業内容及び水環境保全の重要性について説明後、検査室へ移動し、水質の汚濁指標であるBOD検査の見学や、実際にCOD検査を行った。

高知大学の学生に関しては、さらにもう1週間インターン生として在籍したが、専攻が排水処理に関わるため、法定検査や浄化槽の調査研究、検討委員会への参加など、よりセンターの業務に密接な体験をしてもらった。

また2週間という長期に渡りセンター職員と同行したためか、職員と打ち解けあうなど、楽しく就業体験ができたようである。

学生さんたちには、ぜひこのインターンシップでの体験を通じ、将来を担う環境リーダーとして活躍してもらいたいものである。



「浄化槽の日」

第33回全国浄化槽大会標語決まる!

「浄化槽の日」実行委員会はこのほど、「浄化槽の日」関連行事である今年の第33回全国浄化槽大会で表彰される標語の入選4作品を発表した。

最優秀賞、優秀賞作品は以下のとおり

入選者は浄化槽大会で表彰され、最優秀賞には5万円、優秀賞には各1万円の賞金が贈られる。

【最優秀賞】・・・一般の部

☆水の国 支えるかなめ 「浄化槽」

【優秀賞】・・・一般の部

☆浄化槽に金メダル! 快適生活・環境保全に大貢献

☆未来へつないでいこう 快適な生活環境を守る

みんなまちの浄化槽

【優秀賞】・・・学生の部

☆浄化槽は かんきょうをまもる ヒーローだ



当センターはインターンシップ制度を導入しており、例年数名の学生を受け入れている。

今年も、徳島大学から1名を8月19日～8月23日の

環境特別学習

竹の水鉄砲で花に水を…

●あすたむで水の大切さを学ぼう●

8 月 1 日(木)、あすたむらんど徳島で、「竹の水鉄砲で花に水を～あすたむで水の大切さを学ぼう～」をテーマに、環境特別学習を開催した。

当イベントは、水資源の大切さをPRする為、毎年 8 月 1 日「水の日」に実施している啓発活動であり、今年で 9 回目となる。

当日は、暑い夏の日差しにも負けず、集まった子供たちは、センターで作成した竹の水鉄砲を使って、元気よく池の水を花に散水していた。

私たち家庭でも、プラスチック容器等で貯えた雨水を使って植木や家庭菜園に水やりをする等、限りある水を再利用することは簡単に行える。

より多くの方に水の大切さを認識してもらい、日常生活の中で水の再利用などの意識付けのきっかけとなるよう、今後も環境学習の場を提供していきたいと考えている。



事務局だより

法定検査のお知らせ

次の日程で法定検査を実施します。

○11条検査

日程：令和元年10月10日～令和元年11月1日
地区：東みよし町、三好市、阿南市

○7条検査

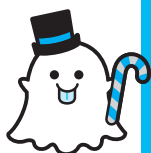
日程：令和元年10月10日～令和元年11月1日
地区：藍住町、北島町、石井町、上板町、
鳴門市、松茂町、板野町、阿波市、
吉野川市

○那賀町検査(らくらくあんしん協議会)

日程：令和元年10月10日～令和元年11月1日
地区：那賀町全域

○神山町検査(神山町きれいな水づくり協議会)

日程：令和元年10月10日～令和元年11月1日
地区：神山町全域



水質計量便り

～新米は秋の味覚～

暑さも少しはやわらぎ、秋の匂いが感じられる日が増えてきましたね。

稲の刈取り風景があちらこちらで見られます。今年も新米が食卓に並びだし、食欲の秋をますます促進させてしまいそうです。これも自然からのありがたい恵みですね（＾＾）。

さて、このお米、実は生鮮食品で精米後の鮮度が味を左右するそうです。美味しくいただくには、夏場で 2 週間程度、それ以外でも 3 週間程度とされています。精米すると空気による酸化が原因で風味が落ち、気温が高いほど酸化が進みます。そのため、おすすめの保存方法は 2 リットルのペットボトルに入れて冷蔵庫で保存する方法だそうです。

もちろん、おいしく食べるポイントは、お米のとぎ方と水加減です。お米を研ぐには、たっぷりの水を一気に注ぎ、底の方から手早く静かに 2 ～ 3 回かき混ぜすぐに水を捨てます。その後もガシガシ研がずにさっと洗ってすぐに捨てます。精米の精度が上がって、昔ほどお米を研ぐ必要は無いそうです。

また水加減については、新米は水分を多く含むので、いつもより水加減を少なめにし、夏は 30 分ほど、冬は 1 時間ほど浸け、お米の芯まで水を吸収させてから炊きます。

炊き上げたら、しゃもじで底から返すようにふっくらと混ぜて、湯気を逃がして余分な水分を飛ばし、10 ～ 15 分蒸らします。

ひと手間がかかりますが、ぜひこの時期の美味しいお米を堪能してみてくださいね。

また、五ツ星お米マイスターおすすめ炊き方で、炊飯に使う水を「炭酸水」にするおもしろい方法があります。味と香りのついていない炭酸水に 30 分ほどおいて、炊飯器の火力が最大になるよう、「早炊きモード」などで炊くと、お米の風味ともっちり感が増すそうです。一度試してみてくださいね（#＾＾#）。

by koizumi

